



よしだつうしん

吉田通信

第7号
【2015年4月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

◆当社の職人さんは若いのですが…◆

こんにちは！お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通信第7号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、当社には、御仏壇を作る職人さんが13人（パートを含む）いるのですが、他社さんと比べても、とても若いです。50代の男性1人を除くと全員40代以下で、一番下は20代半ばの女の子です。また、その中の1人は、伝統工芸士という12年以上の実務経験がないと受けることさえできない難しい資格に昨年合格しているのですが、その彼もまだ若干32歳。職人と言うには若すぎないか？というご意見もあるかと思いますが、ただ、技術力には自信があります。

先日、東京は墨田区にあります、すみだリバーホールというところで、第22回全国伝統的工芸品仏壇仏具展がありました。これは、2年に1度、その技術力を競い合う大会のようなものです。御仏壇の産地は全国に15あり、それぞれの産地の仏壇屋さんや組合などが、その技術力を活かした御仏壇を出品して競い合うのですが、今回は全国から80弱の御仏壇が出品されました。当社も自社で作った御仏壇を出品させていただきました。

金曜日に搬入し、翌日の土曜日の午後2時から美大の先生や御仏壇に関わる人たちによって厳正な審査が行われました。そして、その審査結果は、なんと80弱の中で第5位！おかげさまで、新潟県内ではトップの順位でした。今回評価されたのは、瑞穂という御仏壇で、沈金という技法を使ってトキを描いているのですが、そのディテールにまでこだわったトキの微細な表現が好評を得て、全国で第5位に入ることができました。

審査の翌日、日曜日は職人全員で会場に行きました。そして、自分たちより上位の御仏壇を

実際に自分たちの目で見て、しっかり研究いたしました。まだまだ若い職人ですが、新潟一の技術力を、さらに磨いていきたいと思えます。

全国5位、新潟ナンバー1の御仏壇（瑞穂）は、白根の本社に展示してあります。是非、ご覧になっていただきたいと思えます。

感謝

◆発行者コラム◆

今回もまた最後までお読みいただき、どうも有り難うございました。さて、先日、最終回を迎えましたNHK連続テレビ小説「マッサン」。吉田家で唯一ハマっていたのが、この春中2になる息子です。録りためたマッサンを毎週末まとめて見ていました。そして、息子は大河ドラマも大好きで、家族で夕飯を外に食べに行こうとすると「今日は大河ドラマがあるから家で食べたい」と言う始末…。誰に似たのか、なんとも渋い一面を持った中2の息子です。吉田竹史

■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが090-3339-0424までご連絡をお願いいたします。■

【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）
生年月日：昭和40年8月21日（O型）
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）
家族構成：妻、娘、息子



吉田 竹史